

2020年3月期 第2四半期 決算説明会 主なQ&A

(中央新幹線計画の南アルプストンネル静岡工区の状況)

- Q. 中央新幹線計画の南アルプストンネル静岡工区について、着工まで今後どれくらいかかるのかという時間軸を教えてください。
- A. 南アルプストンネルの静岡工区につきましては、繰り返し丁寧に説明を尽くしているところです。当社としましては、できるだけ速やかにトンネル掘削工事に着手したいと考えていますが、時期については、なかなか明確には申し上げられません。今年の8月9日に、国と静岡県、そして当社の3者で当面の進め方について合意し、その後、9月12日と13日の専門部会、10月4日にトンネル専門家を加えた意見交換会の議論が行われました。このプロセスの中で、多くの問題について議論を交わすことで、それなりに認識が深まったことはありますが、今後に向けて、議論が収束に向かう道筋は必ずしもはっきりしていませんでした。そのため、静岡県から出された中間意見についての議論が一巡したところで、改めて、今後の議論を円滑に進めるために、国交省もこれまでの「見守る」という立場から、前に出て、新しい枠組みを作るための調整が今も行われています。当社としましては、こうした新しい枠組みの下で、議論が進展し、収束していくことに期待しています。

(東海道新幹線の需要動向)

- Q. 東海道新幹線の需要動向について、災害等の特殊要因の影響を除いた基礎トレンドを御社内ではどのように見ているのか。加えて、下期の運輸収入の計画は前年度並みとしているが、景況感の悪化に伴い、新幹線の出張需要等に陰りが見えてきているか。
- A. 特に9月、10月は例年災害の多い月で、昨年度も今年度も大きな台風の影響を受けており、需要動向を正確に見通すことは難しいですが、足元の状況としてはご利用が堅調に推移していると認識しています。下期の運輸収入の予想につ

きましては、極めて大型で大雨を伴った台風 19 号がきたこと、しかも行楽シーズンの 3 連休にきたということもあり、その影響を 30 億円程度と見積もり業績予想に織り込みました。この台風 19 号による影響を除けば対前年並みの水準となっており、この見方は、年度初に前回予想を策定したときと基本的には変わっていません。

(大規模改修工事の今後の計画)

- Q. 新幹線大規模改修工事のⅢ期計画として、2019 年度から 2022 年度まで計 1,360 億円の計画を先日発表した。これまでのⅡ期計画と比べると、毎年の投資額が若干増加しているように見える。これは保守的な計画を策定した結果か、それとも工程にこれまでと変化があるのか。
- A. 保守的に見積もった計画ということではなく、今後予定している工事の内容を考慮しながら策定した計画です。

以 上